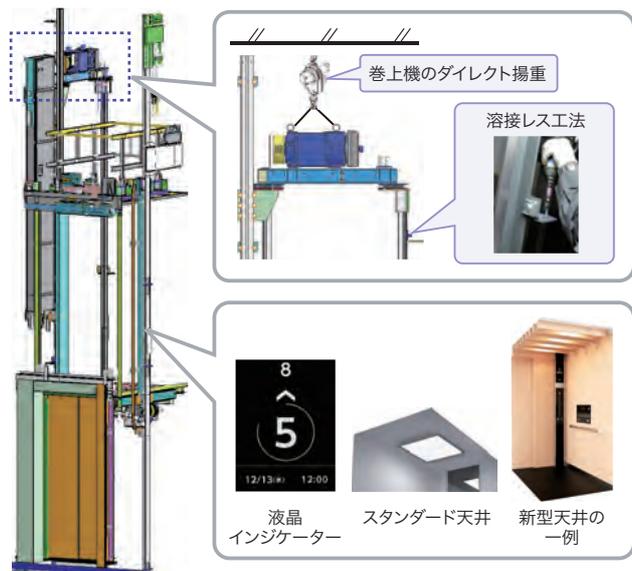


国内市場向け 次期標準形エレベーター



次期標準形エレベーター

次期標準形エレベーターの特長

Features of new type of standard elevators for Japanese market

国内エレベーター市場の設置台数が伸び悩む中、訴求力のある意匠品の採用、及びリカーリングビジネスモデル視点でのフィールド対応力の強化を目的として、次期標準形エレベーターを開発した。主な特長は、以下のとおりである。

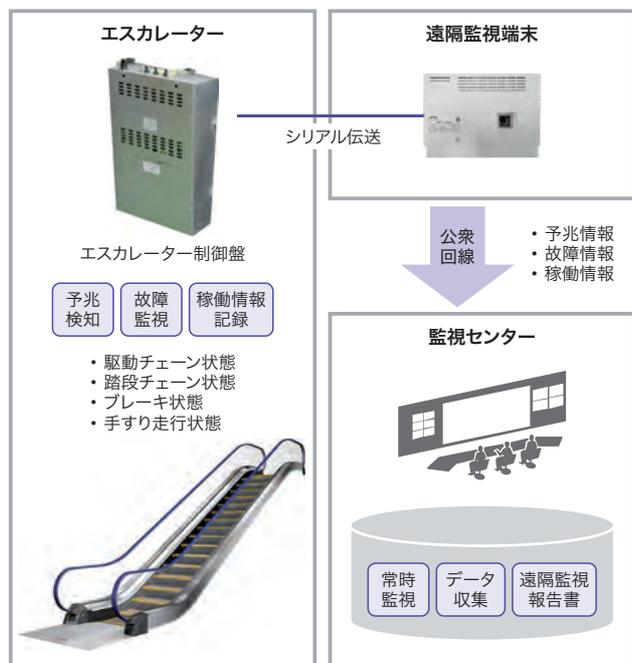
- (1) 据え付け性の向上 溶接レス工法や巻上機の揚重改善などで、据付工期を従来に比べて約20%短縮^(注)
- (2) 保守性の向上 新たな遠隔診断機能による自動診断項目の拡大や各種点検項目の簡素化で、年間の保守工数を削減
- (3) 新意匠の採用 かご内の液晶インジケータの大型化や、4か国語表示、スタンダード天井照明の大型化による照度アップなどで、利便性を向上。また、新型天井として3種類をラインアップ

特に、据付工期の短縮では、最上階レイアウトの見直しにより巻上機を特殊な揚重治具を使用せず設置するダイレクト揚重を可能にするとともに、溶接レス工法によりドリルねじを適用してレールブラケットや乗り場用品の溶接箇所を減らし、CO₂（二酸化炭素）排出量削減も実現した。

(注) R9-2S60-6STOPコンクリート構造の場合。

東芝エレベータ(株)

遠隔監視システムに対応したエスカレーター



エスカレーター遠隔監視システムの概要

Overview of remote monitoring system for escalators

公共交通機関や商業施設には多くのエスカレーターが設置されており、定期的に保守が行われている。これら現地での保守作業は、夜間や早朝など施設の営業時間外に実施される場合があり、限られた時間内に機器の状態に応じた的確な保守を実施することが求められる。現行のエスカレーターは、マイコン制御により稼働情報や故障情報を制御盤に記録する機能を備えているが、今回、以下の機能を持った遠隔監視システムを構築した。

- (1) 重要点検部位のセンシングで、故障発生前の予兆を検知
- (2) 監視センターと常時接続することで、24時間の遠隔監視を実現
- (3) 最適な点検整備のために、稼働情報を定期的に収集

特に、チェーン診断は毎日行われており、あらかじめ設定した基準値を超えた場合にはアラームを発報し、保守員が現地に駆け付けて適切な処置を施すことで、利用者の更なる安全性向上と保守点検の効率化を図ることができる。そのほか、ブレーキ診断や手すり監視なども行い、収集した各種データを保全計画に反映することで、適切な保守を実現できる。

東芝エレベータ(株)